

明治・欧化時代の商店

- 日 時：2021年3月6日（土）13:00～16:00
- 開催方法：ZOOMによるオンライン開催（参加者に別途、招待メールを送信します。）
- 開催趣旨：

今回のシンポジウムでは、「欧米商品の流入と欧風文化の受容が盛んであった明治中期に、愛知県下のおもに小売り流通面ではどのような変化が起きていたのか」を検討したい。検討する基本資料は、1888年（明治21年）に発刊された『尾陽商工便覧』『参陽商工便覧』（以下、『便覧』）であり、そこに掲載された数百枚の商店絵図から、各分野の商店や工房、運輸業などを選抜して、それぞれの分野の変化を追ってみる。

この両書については、1年ほど前に風媒社から『尾張・三河 明治の商店 絵解き散歩』という表題で解説書が発刊されたので、その中心的執筆者による2人の報告（尾張・三河を分担）に、明治期から昭和初期までの全国の商店街における商店の開業年間を統計的に分析した報告を加えた構成とした。

今回のシンポジウムは、「絵図」の形で残された明治中期の店頭状況から、当時の生産や流通、販売の実情や変化を読み取ろうとする新しい試みである。従来流通研究では、あまり取り上げた例を見ないこうした方法で、今後の研究に新局面を開きたい狙いがある。

式順	内 容	時 間
1	開会挨拶 — 小林富雄（中部陪会会長，愛知工業大学経営学部教授）	13:00～13:05
2	趣旨説明・パネリスト紹介 — 仲川直毅（中京学院大学経営学部講師）	13:05～13:10
3	報告 1 — 森清雄（愛知東邦大学地域創造研究所顧問） 「絵図で見る名古屋・尾張各地の実情」	13:10～13:40
4	報告 2 — 堀江登志実（岡崎美術博物館学芸員） 「絵図で見る東・西三河各地の実情」	13:40～14:10
5	報告 3 — 末田智樹（中部大学人文学部教授） 「近代地方都市の商店街における商店の開業年間とその比較」	14:10～14:40
6	休憩（質問受付）	14:40～14:50
7	論点整理とコメント — 末田智樹（同上） 「森清雄編著『明治の商店』と近代商業・流通史研究の展望」	14:50～15:05
8	パネルディスカッション	15:05～15:50
9	総括 — 竹内晴夫（愛知大学経済学部教授）	15:50～15:55
10	閉会挨拶 — 松尾秀雄（名城大学経済学部教授）	15:55～16:00

○申込方法

- 3月4日（木）までに、次の申込フォームにより申込をお願いいたします。なお、定員は100名です。
申込フォーム： <https://forms.gle/nQxBH165eZgJidJZ7>
- お問い合わせ先：日本流通学会中部陪会事務局・小谷 [E-mail : kotani@cuc.ac.jp]

パネリスト

1. 森 靖雄（愛知東邦大学地域創造研究所顧問）

【プロフィール】

職歴：愛知大学（総合郷土研究所・講師），大阪府（府立商工経済研究所・主任研究員），日本福祉大学（中小企業論担当・教授，知多半島総合研究所研究主任），東邦学園大学（現愛知東邦大学・教授）（地域経済論担当・地域創造研究所長），『愛知県史』専門委員（近代・産業経済担当）

主著：『徳川時代にける市場成立の研究』『やさしい調査のコツ』『中小企業が日本経済を救う』『尾張・三河 明治の商店 絵解き散歩』『戦時下の一宮 くらしと空襲』

長年おもに中部・近畿地域の，実証的地域研究，中小・自営業の研究に携わってきた。

2. 堀江 登志実（岡崎市美術博物館学芸員）

【プロフィール】

職歴：愛知大学非常勤講師，愛知大学総合郷土研究所非常勤所員，中京大学非常勤講師，岐阜聖徳学園大学非常勤講師，『愛知県史』調査執筆委員（近世部会），『新修豊川市史』調査執筆委員，『新編知立市史』調査執筆委員，『新編西尾市史』近世部会執筆員

主著：『近世の矢作橋』『定本矢作川』（共著）『新修豊川市史（通史・近世）』（共著）『新編知立市史』近世資料編（共著）

専門は日本近世史。長年，岡崎市美術博物館の学芸員として企画展を開催するとともに岡崎・三河地域の歴史と文化の研究に取り組んできた。

3. 末田 智樹（中部大学人文学部教授）

【プロフィール】

職歴：1967年福岡県生まれ。福岡大学商学部卒業後，福岡大学大学院商学研究科博士課程前期・後期修了。

その後，商社に勤務しながら，佐賀大学大学院経済学研究科修士課程および岡山大学大学院文化科学研究科博士課程修了。2004年から中部大学に勤務。修士（商学・経済学），博士（経済学・学術）。

主著：『藩際捕鯨業の展開』『日本百貨店業成立史』『老舗百貨店の接客法』（以上単著）『近世西海捕鯨業史料』『近代日本の交通と流通・市場』『飛騨高山』『鉄道と商業』（以上共著）

専門は商業経営史，経済史，歴史地理学。近世の豪商経営や捕鯨業史から研究を開始し，そののちは百貨店の成立・発展史の研究を進めつつ，東海地方では松坂屋（伊藤次郎左衛門家）の研究に取り組んできた。